



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 19 No. 2836

2023-2024年度国際ロータリーのテーマ

2023-2024年度R I 会長 ゴードンR.マッキナリー

2023-2024年度R I 第2500地区テーマ

ガバナー鶴見誠一郎

今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ

2023-2024年度士別ロータリースローガン

【勇気ある行動で友情と奉仕の実践へ】

～ Let's begin ～



世界に希望を生み出そう

- 会 長／菊地 昭通
- 副会長／山下 卓己
- 幹 事／福島 和秀
- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10-13:00

2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>

士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

RI ホームページ <https://www.rotary.org>

第2925回例会 2023年 12月 4日

今日のプログラム

・普通例会・誕生祝・理事会・年次総会

前回（11月27日）の記録・夜間例会

司 会 志村孝幸 会場監督
 齊 唱 それでこそロータリー
 本日の出席 会員 43人中 出席者 43人 出席率 100%
 本日の欠席

ニコニコBOX 谷温恵会員（第75回士別幼稚園お遊戯会終了御礼）
 宮崎隆雄会員（士別ベンチャーズリサイタル終了御礼）
 谷村一文会員（先代社長没後9ねん供養・禁酒解放記念）★★★★

累計 235,000円

例会予定

■ 12月例会日[家族月間]

- 12月 4日(月) 普通例会・理事会
- 12月 11日(月) 夜間例会・ファミリーパーティ
- 12月 18日(月) 普通例会
- 12月 25日(月) 特別休会

■ 1月例会日[職業奉仕月間]

- 1月 1日(月) 休会（元日）
- 1月 8日(月) 休会（成人の日）
- 1月 15日(月) 普通例会・理事会
- 1月 22日(月) 普通例会
- 1月 29日(月) 夜間例会

■会務報告……………菊地 昭通会長

本日は、知っておきたい「金融」の基本について、お話し致します。

日本銀行はどうやって紙幣を発行するのでしょうか。発券銀行である日本銀行。

ただの紙切れが紙幣に変わるのが不思議です。その発行のしくみやお金が世の中に流通して、私たちの手元に届くまでに、いったいどんな手続きが行われているのでしょうか？

日本銀行が発行している紙幣は「日本銀行券」と呼ばれます。

これは、日本銀行内部の帳簿の上では借金に当たります。

日本銀行券は、なんと「借用証書」なのです。

一般の銀行は日本銀行から借金することができます。このとき銀行は、借金の担保を日本銀行に渡します。担保となるのは、銀行が持っていた国債や社債、手形などです。

日本銀行は、こうしたものを担保にして、一般の銀行にお金を貸します。

このとき日本銀行が紙幣を発行したことになるのです。これは、逆に見れば日本銀行が一般の銀行から国債や社債、手形を借りたと考えることもできます。

「確かに借用しました」というしるしに、借用証書を渡しています。これが紙幣というわけです。

私たちは、日本銀行の「借用証書」を使って、買い物をしたり支払いに当てているのです。

そう考えるとなんだか不思議な気がします。

また、日本銀行が世の中に出回るお金の量を増やそうと考えると、一般の銀行が持っている国債を買い上げます。

このとき代わりに紙幣を渡します。これによって、紙幣が発行されたことになります。

紙幣が一般の銀行に渡り一般の銀行が、今度は会社などに資金を貸し出すことで、紙幣がさらに世の中に出回って行くのです。

日本銀行が一般の銀行にお金を貸すときは、担保をとるという話をしましたが、担保をとらずに資金を貸し出すことがあります。

それが「日銀特融」(日本銀行の特別融資)です。

これは、銀行や証券会社などが経営危機に陥ったとき、パニックを引き起こさないようにするために発動されます。

日本銀行が資金不足に困った金融機関に、無担保で

無制限にお金を貸すことがあるのです。

「日本銀行がいくらでもお金を貸してくれる」とみんなが知れば、問題の銀行に慌てて押しかけて預金を引き出すというパニック(取り付け騒ぎ)を避けることができます。

この場合日本銀行は、紙幣をせっせと印刷しては(実際の印刷は国立印刷局に委託)問題の銀行に運び込みます。

日本銀行は紙幣を印刷すればいいのですから、いくらでもお金を貸すことが可能です。

日本銀行は、このようなことができるので「最後の貸し手」とも呼ばれています。

日本銀行券が日本銀行の「借用証書」であっても日本のお金であることに変わりはありません。

「借用証書だったら受け取るのはいやだ」とは言えません。法律で「日本銀行が発行する日本銀行券は、日本国内ならどこでも誰でもお金として認めなければならない」ということが決まっているからです。

日本では、日本銀行だけが紙幣を発行できます。明治時代には、各地の銀行が勝手に紙幣を発行していたことがあります。この当時の紙幣には、いつでも金と交換すると書いてありました。このような紙幣を「兌換(だかん)紙幣」と言います。

各銀行は、持っている金の量だけ紙幣を発行することができました。ところが倒産する銀行が出るようになって、紙幣を発行できるのは日本銀行だけとなりました。まとめとして、日本国民の誰も「お金」と認めているから、日本銀行券は紙幣として使用されるのです。つまり、私たちは自然に1万円なり千円なり、紙に価値をつけているんです。意識するとなんだか不思議に思います。

■幹事報告……………福島 和秀 幹事

1. 12月4日の第1例会で年次総会を開催します。繰り合わせの上出席いただきますようお願いいたします。また、例会終了後に理事会を開催しますので、理事役員の皆様、出席いただきますようお願いいたします。

2. 土別商工会議所より土別市新年恒例会の案内が届いております。令和6年1月5日(金)午後6時より土別グランドホテルで開催されます。会費は3000円となっておりますので、ご希望の方は福島まで連絡ください。